

令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立啓発	小学校	児童数	60
--------	-----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.74	19.86	30.74	41.17	53.00	8.79	163.86	23.00	55.45
大阪市	16.11	18.48	32.94	37.73	42.24	9.50	147.79	20.23	50.79
全国	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
女子	16.52	16.25	36.29	37.67	37.13	9.46	150.21	13.40	53.83
大阪市	16.00	17.64	37.71	36.25	34.55	9.70	140.60	12.84	52.81
全国	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64

結果の概要

《全体》

- 体力合計点において、大阪市平均値より、男子は4.66ポイント、女子は1.02ポイント上回った。
- 質問項目「運動やスポーツをすることが好きですか」について、肯定的な回答した児童の割合は、男子85.7%(市平均89.82%)、女子83.4%(市平均79.2%)であった。
- 質問項目「学校の保健体育科の授業以外での、1週間の総運動時間」について、「60分未満」と回答した児童の割合は、男子14.3%(市平均13.2%)、女子29.2%(市平均21.5%)であった。
- ソフトボール投げについては、男子・女子ともに大阪市平均値を上回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- 前回(R1)の結果から、ソフトボール投げ(投力)の数値が低いことに焦点を当て、校内で「投の指導法」についての研究・研修に取り組んできた。その結果、今年度、男子・女子ともに大阪市平均値を上回ることができた。
- 体育の授業以外にも、耐寒かけ足や長縄チャレンジ週間などを設定することで、体力・運動能力(体力合計点)の向上につなげることができた。今後も継続して取り組んでいくことで、「学校の体育の授業以外での運動時間」を確保していきたい。
- 「できるようになった」「記録が伸びた」と子どもたちが自身の成長を感じることができるようにするなど、運動やスポーツをすることを好きにさせるような授業を研究・実践していくたい。